

目次

第1篇 北海道地方の観光地

Introduction : はじめに

No. 1 : 北海道の観光地

第2篇 東北地方の観光地

No. 2 : 青森県の観光地

No. 3 : 岩手県の観光地

No. 4 : 秋田県の観光地

No. 5 : 宮城県の観光地

No. 6 : 山形県の観光地

No. 7 : 福島県の観光地

第3篇 関東地方の観光地

No. 8 : 茨城県の観光地

No. 9 : 栃木県の観光地

No. 10 : 群馬県の観光地

No. 11 : 埼玉県の観光地

No. 12 : 千葉県の観光地

No. 13 : 東京都の観光地

No. 14 : 神奈川県 of 観光地

第4篇 中部地方の観光地

No. 15 : 新潟県の観光地

No. 16 : 長野県の観光地

No. 17 : 山梨県の観光地

No. 18 : 静岡県の観光地

No. 19 : 岐阜県の観光地

No. 20 : 愛知県の観光地

第5篇 北陸地方の観光地

No. 21 : 富山県の観光地

No. 22 : 石川県の観光地

No. 23 : 福井県の観光地

第6篇 近畿地方の観光地

No. 24 : 三重県の観光地

No. 25 : 滋賀県の観光地

No. 26 : 京都府の観光地

No. 27 : 奈良県の観光地

No. 28 : 和歌山県の観光地

No. 29 : 大阪府の観光地

No. 30 : 兵庫県 of 観光地

第7篇 中国地方の観光地

No. 31 : 鳥取県の観光地

No. 32 : 島根県の観光地

No. 33 : 岡山県の観光地

No. 34 : 広島県の観光地

No. 35 : 山口県の観光地

第8篇 四国地方の観光地

No. 36 : 香川県の観光地

No. 37 : 愛媛県の観光地

No. 38 : 徳島県の観光地

No. 39 : 高知県の観光地

第9篇 九州地方の観光地

No. 40 : 福岡県の観光地

No. 41 : 佐賀県の観光地

No. 42 : 長崎県の観光地

No. 43 : 大分県の観光地

No. 44 : 熊本県の観光地

No. 45 : 宮崎県の観光地

No. 46 : 鹿児島県の観光地

本資料に掲載

第10篇 沖縄地方の観光地

No. 47 : 沖縄県の観光地

第11篇 その他の観光資源

No. 48 : 日本の国立公園

No. 49 : 日本の世界遺産

No. 50 : その他の項目

No. 40 : 福岡県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

九州の最も北にあり、玄関口といえる。
 福岡空港は全国でも有数の空港で、国内線だけでも 25 路線以上が乗り入れ、1 日で 350 便以上が発着する。
 観光地は武士の町であり、また商人の町である福岡市、水郷の町柳川、個性ある地域が集まる北九州など。
 これらに加え、太宰府天満宮は多くの人に知られた観光地である。
 また、玄関口だけあって、西の佐賀・長崎、東の大分、南の熊本などとの観光起点になっている。

【福岡市】

はこぎきくう
 ・**宮崎宮**

博多湾から本殿まで参道が続く、歴史ある神社。うさじんぐう宇佐神宮（大分県）、いわしみずはちまんぐう石清水八幡宮（京都府）とともに、三大八幡宮といわれる。神門の扁額に「敵国降伏」とあることから、勝ち運の神様として信仰を集めている。

かしいくう
 ・**香椎宮**

起源は古く西暦 200 年と伝わる。本殿は江戸時代後期の再建時のもので、かしいづくり「香椎造」と称される。境内は福岡を代表する花菖蒲の名所としても知られている。

くしだじんじゃ
 ・**櫛田神社**

中心地にある博多の総鎮守で、はかたぎおんやまかさ博多祇園山笠が奉納される神社。市民からは「お櫛田さん」の愛称で呼ばれる。境内には樹齢約 1000 年の大きな銀杏がそびえている。

しかのしま
 ・**志賀島**

博多湾の北部、砂州によって本土と陸続きになっているりくけいとう陸繋島。1784 年に、後漢書に記載のある「漢委奴国王印」（国宝）が農民によって発見されたことで知られる。現在は「金印公園」として整備されている。

・**キャナルシティ博多**

1996 年に開業した大型複合施設で、40000 m²以上の広大な敷地に、ショッピングモール、映画館、劇場などの施設が入る。施設の中央には運河（キャナル）が流れ、中央のステージでは様々なイベントが行われる。

おおほりこうえん
 ・**大濠公園**

かつての福岡城の外堀で、市の中央部にある県営の都市公園。220000 m²以上の池があり、周囲は約 2 km の遊歩道や、野鳥の森、庭園などが整備されている。レンタルボートを楽しむカップルも多い。

[柳川市]

・川下り

柳川は立花藩の城下町で、掘割が巡る「水の都」として知られる。藩主立花家の別邸として建設された「御花」や川下りが観光の中心。名物の「ウナギのせいり蒸し」も楽しむことができる。

・白秋記念館

詩人北原白秋は柳川の生まれで、現在でも生家が残る。記念館は、独特の“なまこ壁”の土蔵作りとなっていて、民俗資料や白秋の業績を紹介している。

[北九州市]

・門司港レトロ地区

横浜や神戸と並ぶ国際貿易港として栄えた門司港周辺は、当時建てられたレンガ造りの建物などレトロな建物が数多く立ち並んでいて、人気観光地になっている。付近には九州鉄道記念館がある。

・森鷗外旧居

文豪かつ軍人であった森鷗外が、陸軍の軍医部長として赴任していた時に住んでいた住宅で、市指定の史跡。明治30年頃に建てられた住宅。*森鷗外の旧宅（生家・記念館）は、島根県・津和野にもあります。

[その他の福岡県の観光地]

・太宰府天満宮

学問の神様として知られる菅原道真を祀る。本殿は道真公の墓所の上に建立されていて、国の重要文化財に指定されていて、そばには飛梅の木が植えられている。受験期にはお守りを求めて受験生や父兄が多く訪れる。

・宗像大社

中北部の玄界灘に面した神社の総称。本土側に^{へつぐう}辺津宮、大島に^{なかつぐう}中津宮、沖ノ島に^{おきつぐう}沖津宮がある（辺津宮を宗像大社と呼ぶこともある）。世界遺産「^{へつぐう}神宿る島」宗像・^{なかつぐう}沖ノ島と^{おきつぐう}関連遺産群として登録されている。

《代表的な観光資源》

[祭り・名物]

- ・博多どんたく港まつり：毎年5月3日～4日に「どんたく隊」と呼ばれる様々なグループが演舞を披露する祭り。語源はオランダ語の ZONDAG（ゾントーク…休日）による。
- ・博多祇園山笠：毎年7月1日～15日に、博多の総鎮守として知られる^{はかたぎおんやまさ}櫛田神社で行われる。最終日に約1トンの山笠を担ぎ、博多の街を疾走する「追い山笠」がクライマックス。
- ・玉せせり：1月3日に^{こくらぎおんだいこ}宮崎宮で行われる祭り。締め込み姿の男たちが2つの玉を奪い合う。
- ・小倉祇園太鼓：小倉で7月に行われる祭り。山車に付けた太鼓を叩きながら練り歩く勇壮な行事。
- ・辛子明太子：スケトウダラの卵巣を唐辛子に漬けたもので、博多の代表的なみやげとなっている。

No. 41 : 佐賀県の観光地



【概要】

福岡県と長崎県にはさまれ、佐賀県のみを観光することは少ない。

福岡県のすぐ隣が唐津市で、玄界灘に面した自然や名護屋城などの歴史的史跡・観光地に人気がある。

南部は有明海に面し、珍しい海産物が獲れ、これに沿って長崎県に入ることができる。また、内陸部の長崎街道に沿った地域に古くから知られた温泉がある。

2022年開業の西九州新幹線はここを通ることになり、新しい観光ルートができることになる。

(代表的な観光地)

[唐津市周辺]

・虹の松原

唐津湾沿いに、弧を描いて連なる松原。唐津藩の初代藩主が、防風・防潮林として植えたのが始まり。全長約4.5kmにわたって続き、松の木は約100万本といわれる。三保の松原(静岡)、気比の松原(福井)とともに**日本三大松原**の一つに数えられる。

・唐津城

江戸時代初期に築城された、唐津湾に面した高台にある城。玄界灘と虹の松原の雄大な景観を望むことができる。築城に際して、後記の名護屋城の廃材が用いられたと伝わる。

・名護屋城跡

豊臣秀吉の朝鮮出兵に際して築かれ、7年の間侵攻の拠点であった城。秀吉の死により役割を終え、江戸時代に解体された。現在は、城跡と23箇所の陣跡が国の特別史跡に指定されている。

・七ツ釜

海岸にある断崖が荒波によって浸食され、深くえぐられた7つの洞窟。最大のもは間口3m、奥行き110mになる。これらを遊覧船で巡ることができる。国の天然記念物に指定されている。

付近の**呼び**で獲れるイカは特産品。

[有田町周辺]

・有田、伊万里

佐賀県西部にあり、伝統工芸品の1つである有田焼の産地として知られている。有田焼は近くの伊万里港から積み出されたことから、伊万里焼とも呼ばれていた。最近では伊万里周辺でも生産されている。

・有田陶器市

毎年、4月29日～5月5日にかけて開催される「有田陶器市」は陶磁器を販売するイベントで100万人を超える人出で賑わう。

【その他の愛媛県の観光地】

よしのがりいせき ・吉野ヶ里遺跡

神崎市から神崎郡にまたがる、弥生時代の大規模な遺跡。吉野ヶ里歴史公園には、物見やぐら、竪穴住居、高床倉庫等が復元され、**弥生時代**の雰囲気が体験できる。

ゆうとくいなりじんじや ・祐徳稲荷神社

鹿島市にあり、伏見稲荷（京都府）と笠間稲荷（茨城県）とともに**日本三大稲荷**に数えられる神社。参詣者は年間 300 万人を数え、付近はつつじの名所。

《代表的な観光資源》

【温泉】

- #### たけお ・武雄温泉

武雄市にある温泉。温泉の入り口にある竜宮城を思わせる釘を一本も使っていない朱塗りの**楼門**がシンボリック的存在。
- #### うれしの ・嬉野温泉

嬉野市にある歴史の古い温泉。名称の由来は、負傷した兵士が温泉の湯により癒されたので「あな、うれしの」と喜んだことからとの説がある。

Topic : 西九州新幹線



2022年9月23日「西九州新幹線（かもめ）」が開業。博多～鳥栖～佐賀～肥前山口～武雄温泉は在来線の特急、武雄温泉～長崎はフル規格の新幹線（対面乗換方式）。

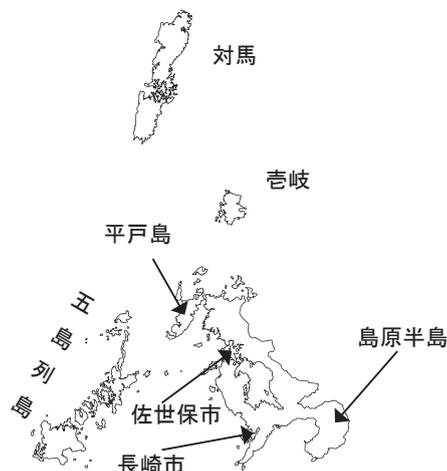
【祭り・イベント】

- #### ・唐津くんち

11月に行われる、唐津神社の秋の例大祭。曳山が通りを駆け抜ける。
*長崎くんちは10月である点に注意。
- #### ・佐賀国際バルーンフェスタ

毎年秋に佐賀市の河川敷で行われる熱気球の競技大会。

No. 42 : 長崎県の観光地



【概要】

左の地図のように県全体は複雑な形をしている。また、離島が多いことも特徴。

長崎観光といえばまず異国情緒漂う長崎市内が始まりとなる。南蛮貿易や唐船・朱印船との交易で栄え、鎖国時代にも外国との交流があった。

その影響からキリスト教に関する史跡なども多く、平戸や島原もその一つである。

離島だけでなく、長い海岸線には美しい景色が多く観光資源に恵まれている。

(代表的な観光地)

[長崎市]

・グラバー園

国指定重要文化財の旧グラバー住宅など、市内に点在していた明治時代の6つの洋館を移築復元した施設。園内は多くの花々が植えられ、異国情緒にあふれている。

・大浦天主堂

幕末時に在留外国人のために建設された現存する**国内最古の教会**。中世ヨーロッパ建築を代表するゴシック調の建物。付近のグラバー園や**オランダ坂**と合わせた徒歩による観光圏内にある。

いなきやま

・稲佐山

長崎のランドマーク的存在で、ここから見える**夜景**に人気がある。また、晴れた昼には、雲仙・天草や五島列島まで望める。山頂へはロープウェイで行くことができる。

めがねばし

・眼鏡橋

中島川に架かる、日本初の石造りの2連のアーチ橋。川面に映った姿と合わせるとメガネのように見える。江戸時代初期の1634年に造られたと伝わるが詳細は不明。国の重要文化財。

はしまたんこう ぐんかんじま

・端島炭鉱(軍艦島)

近代炭坑として開発された海底炭鉱であるが、高い護岸で囲まれた独特の外観から「軍艦島」と呼ばれる。世界遺産「**明治日本の産業革命遺産**」の一部を構成する。

[平戸市]

・寺院と教会の見える風景

高台にある「聖フランシスコ・ザビエル記念教会」と周囲の正宗寺などの、西洋と東洋が融合する景観がこの町の特徴を表している。

・平戸城

平戸のシンボル。平戸港を見下ろす丘の上にあり、三方を海に囲まれ、天守閣からは目の前の海と平戸大橋を望むことができる。

[島原半島]

・島原城

江戸時代初期に築城され、安土桃山式建築の特徴を生かした天守閣があった。明治時代に廃城になったが、昭和39年に復興され、当時の壮麗な面影を残している。内部は郷土史料博物館。

はらじょうあと

・原城跡

1496年に築城されたが、地理的に不便であったため放棄され廃城になった。その後1637～38年の**島原の乱**で一揆勢が立てこもったことで知られる。世界遺産「**長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産**」の構成資産。

にたとうげ

・仁田峠

島原半島の中央部に位置し、仁田峠**循環自動車**道路が通っている。付近にはロープウェイの駅があり、四季を通じ景観を楽しめる。また、**普賢岳**や有明海、天草諸島を望める日もある。

〔佐世保市〕

・ハウステンボス

大村湾に面した広大な敷地にある、日本で最も広いテーマパーク。四季の花々や、幻想的なイルミネーションが年間を通じて楽しむことができる滞在型のリゾートでもある。

〔長崎県の島々〕

つしま ・対馬

九州本土から132kmの洋上にある国境の島。江戸時代以降、宗氏が藩主を務め、明治維新まで続いた。南部にある厳原の城下町跡や宗氏の菩提寺であった万松院などが観光の見どころ。

いき ・壱岐

対馬と九州本土の間にある島。エメラルドグリーン的大海と魚介類や壱岐牛などのグルメが楽しめる。博多港からジェットフォイルで1時間程度で行くことができる。

ごとうれつとう ・五島列島

長崎市に西約100kmに位置する列島で、南にある福江島が最大の島で、長崎や博多とフェリーで結ばれている。いくつかの島に世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の登録地がある。五島うどんも名物。

くじゅうくしま ・九十九島

佐世保市と平戸市の間にある入り組んだリアス式海岸と大小200余りの群島。島の密度は日本一といわれる。九十九とは「たくさん」のたとえで、ほぼ全域が西海国立公園に属している。

《代表的な観光資源》

〔温泉〕

- ・雲仙温泉、小浜温泉：ともに島原半島にある。中央部の雲仙岳をはじめとする山々に囲まれた地に湧くのが雲仙温泉で、その隣にあり、橘湾に面した海辺の温泉が小浜温泉。

〔祭り〕

- ・長崎くんち：長崎市の諏訪神社の祭礼で、毎年10月1日～9日に開催される。「くんち」の名称は旧暦の9月9日に由来する。「龍踊（じゃおどり）」などの奉納踊りが演じられ、アジアやヨーロッパの文化の影響が残る。
- ・ランタンフェスティバル：長崎の冬を彩る風物詩。もともと中国の旧正月（春節）を祝う行事で、中心部のいたるところに1万個以上のランタンが飾られ、幻想的な世界が広がる。

〔名物料理・特産品〕

- ・卓袱料理：中国・西洋・日本料理が融合した宴会料理。大人数で円卓を囲んで取り分ける。
- ・ちゃんぽん：全国で食べられているが、明治時代に長崎の中華料理の店主が考案したという説がある。
- ・からすみ：ボラなどの卵巣を塩に漬けて乾燥させたもの。安土桃山時代に長崎に伝わったとされる。

No. 43 : 大分県の観光地



【概要】

日本で一番源泉数が多く「おんせん県」といわれる大分県は、別府温泉やゆふいん温泉など全国的に人気の高い温泉がある。

北東部の国東半島には独自の仏教文化が広まった地方で、個性的な寺社や史跡が多い地域。

これらを合わせた北東部に観光地が多いが、沿岸部の臼杵、西部の日田、南部の竹田なども特徴がある観光地である。

上記以外にも、旅行管理者試験では組合せ問題として高原や鍾乳洞の名称が出題されることもある。

(代表的な観光地)

【北東部】

- くにさきはんとう
国東半島
 北部にあり、瀬戸内海に突き出た円形の半島。山岳信仰と宇佐神宮などの仏教の影響から、六郷満山文化と呼ばれる国東半島独自の宗教文化が生まれ、**富貴寺**などの建築物や**熊野磨崖仏**などの石仏が多く残っている。
- ふきじ
富貴寺
 718年創建の古刹。平安建築を代表する大堂は現存する九州最古の木造建築物で国宝に指定されている。宇治平等院鳳凰堂、平泉中尊寺金色堂とともに日本三阿弥陀堂のひとつとされる。
- くまのまがいぶつ
熊野磨崖仏
 豊後高田市にある、平安時代後期の磨崖仏（岩壁に掘られた大きな仏像）。急こう配の山道の上の岸壁に刻まれた2体の巨大な仏像。国の重要文化財及び史跡に指定されている。
- うさじんぐう
宇佐神宮
 宇佐市にある全国の八幡宮の総本山。古来より皇室からの崇敬が厚く、かつては弓削道鏡が天皇位を得ようとした道鏡事件の舞台としても知られる。

【中央部】

- やばけい
耶馬溪
 中津市にある、山国川の上・中流域を中心とした溪谷で、奇岩の連なる絶景で知られる。**青の洞門**のある本耶馬溪や深耶馬溪、裏耶馬溪などのエリアに分かれている。
- あおのどうもん
青の洞門
きょうしゅうほう
 競秀峰という岩に掘られた隧道で、18世紀に僧 禅海が通行人の難儀を救うため30年余りノミをふるって開削したとされ、菊池寛の「恩讐の彼方に」によって、この逸話が全国に広まった。
- このえ ゆめ おおつりはし
九重“夢”大吊橋
 2006年1月に開通した、大分県玖珠郡九重町にある歩行者専用の吊り橋。日本一高い歩行者専用橋。(水面より173m)

【別府市】

・別府八湯

別府市内にある数百の温泉の総称。市内には別府、観海寺、明礬、鉄輪など8つの温泉があり、別府は源泉数、湧出量が日本一を誇る。

・地獄めぐり

別府市内には、赤・青、白色の源泉や間欠泉が多く存在に、これらを「地獄」と呼んでいる。中でも海地獄、血の池地獄、白池地獄、竜巻地獄などを観光する「地獄めぐり」が人気である。

【その他の大分県の観光地】

・竹田市

県の南西部に位置する岡城の城下町。周辺はくじゅう連山・阿蘇山などの1,000m級の山々に囲まれ、湧水群や久住高原を持つ自然豊かな町。

・岡城址

岡城は竹田市の標高325mの天神山に築かれたかつての城。現在は「岡城址」として国の史跡に指定されている。瀧廉太郎の「荒城の月」のモチーフとなったことでも知られている（諸説あります）。

・臼杵石仏

臼杵市にある平安時代後期から鎌倉時代にかけて造られた60体以上の石仏群で、多くが国宝に指定されている。

・風連鍾乳洞

臼杵市にある奥行き500mの鍾乳洞で、天然記念物。1926年に発見されたが、閉塞型の鍾乳洞で外気の侵入が少なかったため、あまり風化されていないことが特長。

・豆田町

日田市北部の川沿いにある地区。江戸時代からの建物が多く、天領時代の面影がこのっている。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている。

《代表的な観光資源》

【温泉・名物料理】

- ・ゆふいん温泉：中央部の由布岳の麓にある温泉街。源泉数、湧出量ともに別府に次いで全国第2位。
* 由布院又は湯布院と表記することがある。
- ・筋湯温泉：九重町の標高1000メートルの高地にある。筋肉など筋の病に聞くことから命名された。
- ・天ヶ瀬温泉：日田市の玖珠川沿いにある温泉。開湯1300年を誇り、溪谷の両側に旅館が建つ。
- ・日田温泉：日田市の三隈川沿いにある温泉。屋形船（日田では遊船という）と鵜飼いが人気。

No. 44 : 熊本県の観光地



【概要】

九州の中央部にあり、福岡、大分、宮崎、鹿児島と陸続きであり、長崎、佐賀は有明海を挟んで対岸にある。そのため、他の県と合わせて観光ができ、各地に観光地がある。

代表的な観光地は、県庁所在地の熊本市で熊本城や水前寺公園などスケールが大きく、は熊本の歴史を感じることができる。

また、東の阿蘇周辺や西の天草周辺はそれぞれ山と海の豊かな自然を満喫することができる。

火山が多い地域であることから、温泉地も多いことが特長でもある。

(代表的な観光地)

【阿蘇周辺】

- 阿蘇山**
 九州の中央部にある阿蘇五岳（あそごがく たかだけ なかだけ えぼしだけ きしまだけ ねこだけ高岳・中岳・烏帽子岳・杵島岳・根子岳）を中心とする活火山で、大型カルデラと雄大な外輪山を持つ。一帯には草千里や大観峰など、火山が生み出した自然の見所が多い。
- 草千里**
くさせんり
 中腹に広がる直径約1キロの火口跡。草原が広がり、その周囲では牛や馬が放牧されている。
- 大観峰**
だいかんぼう
 標高 935.9m の阿蘇の外輪山の最高峰で、阿蘇を代表する絶景スポット。阿蘇五岳や九重連山も一望できる。
- やまなみハイウェイ / ミルクロード**
 阿蘇の周辺には雄大な景観を楽しむドライブコースが多い。大分方面からの県道をやまなみハイウェイ、北西部の外輪山に沿った県道をミルクロードとよび、観光には欠かせない存在になっている。

【熊本市】

- 熊本城**
 築城の名手と謳われた加藤清正によって 1601 年から 7 年の歳月をかけ築城した天下の名城で、別名をぎんぎょうじょう銀杏城という。石垣は、上部に向かうほど急な角度になっていて、侵入しようとした敵の武者を返してしまふことから「武者返し」という異名がある。
- 水前寺公園**
 肥後藩主の細川が開いた桃山式の回遊庭園。じょうじゆえん成趣園が正式名称。東海道五十三次を模したといわれる。
- 夏目漱石記念館**
 第五高等学校（現在の熊本大学）の教師として赴任した夏目漱石は、4年余りの滞在期間中に6回転居した。そのうちの5番目に移り住んだ家が最も居住期間が長く、それが現在は記念館として公開されている。うちつばいきゅうきょ内坪井旧居とも呼ばれる。内部には、直筆の原稿や写真などが展示されている。

* 漱石が暮らした東京都新宿区に新宿区立漱石山房記念館もあります。

[天草地方]

・天草諸島

熊本県から鹿児島県にかけての島々。イルカウォッチングが一年中楽しみ、またキリシタンの歴史を伝える施設など、自然と文化が豊かな諸島

あまくさごきょう

・天草五橋

九州本土の三角から、大矢野島・永浦島・大池島・前島を経て天草上島まで結ばれる5つの橋。別名「パールライン」とも呼ばれ、美しい天草の景観を一気に楽しめる。

[その他の熊本県の観光地]

つうじゆんきょう

・通潤橋

熊本県山都町にある石造りのアーチ式水道橋。橋の中央部分から、放物線を描きながら豪快に放水される光景は迫力満点。

・菊池溪谷

阿蘇外輪山の北西部標高 500 ~ 800m の位置する菊池川上流にある溪谷。一帯は原生林に覆われ夏の平均水温は 13℃で避暑地として最適で、春の新緑、秋の紅葉、冬の霧氷など四季を通じて美しい。

《代表的な観光資源》

[温泉]

- ・黒川温泉：阿蘇郡の標高 700 m にあり、溪谷の両側に和風旅館が並び、全国屈指の人気温泉。
- ・杖立温泉：阿蘇郡にあり、大分県境に近い温泉。古い歴史を持ち町のあちこちに湯けむりが上っている。
- ・内牧温泉：阿蘇市の外輪山に下のカルデラ内にある阿蘇地区の最大の温泉地。約 80 の源泉がある。
- ・菊池温泉：菊池市の中心部にある。1954 年開湯と歴史は浅いが、熊本市に近く旅館・ホテルが立ち並び、
- ・山鹿温泉：山鹿市にあり古い歴史を持つ。傷を負い湯に浸る鹿を発見したことが名称の由来。
- ・日奈久温泉：八代市の天草諸島を望む海岸沿いにあり、夏の不知火（蟹気楼の一種）見物で知られる。
- ・人吉温泉：南部の人吉市にある。山々に囲まれた盆地にあり、中央部には球磨川が流れる。

[祭り]

- ・山鹿灯籠まつり：8月 15 ~ 17 日に山鹿市の大宮神社で行われる祭り。浴衣姿の女性が和紙で作られた金灯籠を頭にのせて歩く千人灯籠踊りが見どころ。

[名物]

- ・辛子レンコン：レンコンに辛子味噌を詰め、油で揚げた郷土料理。

No. 45 : 宮崎県の観光地



(代表的な観光地)

【概要】

九州の東南部にあり、東は日向灘に面し海岸線は南北に約 400km の長さに及ぶ。また西は険しい九州山地が横たわり、他県との交通路は多くない。

観光地は北部の山間部にある天孫降臨の地である高千穂地方*と、東南部の日南海岸に近い地域に集まっている。

試験対策としては、これらの地域の代表的な観光地を押さえておきたい。

* 天孫降臨の地は、南部の高千穂峰という有力な説もあります。

【県北部】

たかちほきょう
・高千穂峡

五ヶ瀬川の上流沿いに断崖がそそり立つ峡谷で、付近には日本の滝百選の一つである「**真名井の滝**」や神話にゆかりのある「鬼八の力石」などがある。

・真名井の滝

阿蘇山の溶岩流と五ヶ瀬川の浸食によって形成された高千穂峡にある滝で高千穂峡のシンボル。遊歩道から見る事ができるほか、貸ボートで近くまで寄ることができる。

【東南部】

・青島

宮崎市にある周囲約 1.5 キロの小島で、島を取り巻く波状岩は「鬼の洗濯板」と呼ばれる。島には熱帯性及び亜熱帯性の 200 種類以上の植物があり、ビロウの大群落は天然記念物。島の中央には**青島神社**がある。

・青島神社

青島にあり、海幸、山幸の神話によると山幸彦と豊玉姫が結ばれた地とされ、縁結び・安産、航海・交通安全の神として信仰されている。

・堀切峠 (日南海岸)

日南海岸を代表する景勝地。宮崎市の中心部から山道を走りぬげると、目の前にフェニックスと青い海の風景が現れる。

うどじんぐう
・鶴戸神宮

日南市にある神社で、全国的に珍しい下り宮。日向灘に面した断崖の中腹に本殿が鎮座する。縁結び・夫婦和合、安産などにご利益があるとされる。

とみさき
・都井岬

宮崎県の最南端にある岬。江戸時代にこの地に藩が放牧した馬が野生化し、現在「**岬馬**およびその繁殖地」として国の天然記念物に指定されている。*岬馬を御崎馬と表記することもあります。

おび
・飫肥城下町

飫肥藩5万7千石の城下町として栄え、今も石垣や蔵、武家屋敷、商人通り、武家屋敷通りなど城下町の面影が残る。「**日南の小京都**」とよばれる。

[その他の宮崎県の観光地]

• えびの高原

霧島連山の最高峰である韓国岳^{からくにだけ}の裾野に広がる標高 1200m にある高原。四季の変化に富んだ雄大な自然が残されている。霧島錦江湾国立公園の一部で、年間約 80 万人の観光客が訪れる。

• 西都原古墳群

西都市^{さいとし}にある4～7世紀前半にかけて作られた300基余りの古墳群で、国の特別史跡に指定されている。花の名所として知られ四季を通じて花が咲き乱れる。

• 宮崎神宮

初代天皇である神武天皇を祀る神社で、深い緑の中に神殿がある。神話によれば神武天皇は45歳の時に日向の国（現 宮崎県）を出発し苦難の末大和を平定し、初代天皇に即位したと伝わる。

《代表的な観光資源》

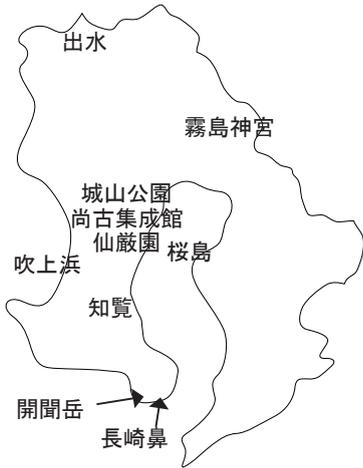
[祭り]

- 古墳祭り：毎年 11 月に西都原古墳群にちなんで、神楽やたいまつ行列が西都市などで行われる。

[名物料理]

- チキン南蛮：鶏のから揚げに南蛮酢とタルタルソースをかけた料理。
- 冷や汁：魚のすり身に味噌やゴマを加えて、だし汁で伸ばした郷土料理。暑い季節に最適。

No. 46 : 鹿児島県の観光地



【概要】

鹿児島湾（錦江湾）を、西に薩摩半島、東に大隅半島がはさみ、中に鹿児島のシンボルである桜島がある。

代表的な観光地は鹿児島市とそこから伸びる薩摩半島に多く、史跡、温泉、城下町、雄大な自然景観などが続いている。

さらに、洋上には屋久島、奄美大島、与論島などの観光地が連なっている。

これに加えて、西部の海岸に近い地域や北部の霧島地域など、県内に多くの観光地が点在している。

（代表的な観光地）

〔鹿児島市〕

さくらしま

・桜島

鹿児島のシンボリックな存在で、現在でも噴煙が上がる。1914年の噴火で大隅半島とつながった。鹿児島港からフェリーで約15分で行くことができ、島内には遊歩道や展望所などの観光スポットがある。

・城山公園（展望台）

市街の中心部にある小高い山で、眼前に市街地が広がり、^{きんこうわん}錦江湾越しの桜島を一望することができる。夜景の美しさでも知られる。付近には西郷隆盛終焉の地など西南戦争にまつわる史跡も多い。

せんがんえん

・仙巖園（磯庭園）

薩摩藩主の島津家の別邸後にある大名庭園。桜島を築山に、鹿児島湾（錦江湾）を池に見立てた景観で知られる。隣には、幕末時の洋式工場建築である尚古集成館がある。

しょうこしゅうせいがん

・尚古集成館

仙巖園に隣接する博物館。元は江戸末期に造られた洋風工場で、島津家の歴史や近代化事業を収蔵・展示している。世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成要素でもある。

*本館は耐震等の工事のため、2024年秋まで休館中。

〔薩摩半島〕

ながさきばな

・長崎鼻

薩摩半島の最南端にある岬で絶景スポット。^{うらしま}浦島太郎伝説が残り付近には竜宮神社がある。晴れた日には洋上に屋久島や宮之浦岳を望むことができ、また、開聞岳の景観も美しい。

かいもんだけ

・開聞岳

薩摩半島の南端の海に面した火山。周囲に山のない単独峰で円錐形であることから「薩摩富士」の別名がある。頂上まで登ることができ、池田湖、錦江湾、指宿温泉などを一望することができる。

ちらん

・知覧

南九州市にある、佐多島津氏により治められた町で、武家屋敷が残り「薩摩の小京都」と呼ばれる。また、特産品の知覧茶や太平洋戦争時の特別攻撃隊に関する資料を展示した知覧特攻平和会館でも知られる。

〔鹿児島県の島々〕

・屋久島

大隅半島の南の洋上に位置する島。樹齢数千年の屋久杉（縄文杉・紀元杉・弥生杉など）で知られる。多様な動植物や特異な生態系を持つことから、1993年世界自然遺産に登録された。中央部の宮之浦岳は九州最高峰。

・奄美大島

奄美群島最大の島で、鹿児島本土と沖縄本島のほぼ中央に位置する。豊かな生態系と自然が残り、マリンスポーツも楽しめる。また、ウミガメの産卵スポットである大浜海浜公園も人気。

・与論島

鹿児島県の最南端に位置するサンゴ礁が隆起してできた島。沖縄本島にも近い。大潮の干潮時に姿を現す白い砂浜百合ヶ浜が人気スポット。

〔その他の鹿児島県の観光地〕

・霧島神宮

天孫降臨の地「高千穂峰」の近くの霧島市にある、創建が6世紀と古い歴史を誇る神社。朱塗りの社殿は豪華絢爛。御神木の杉は樹齢約800年。

・出水

北西部にある都市で、日本最大のツルの渡来地として知られる。毎年10月中旬から3月頃まで、1万羽を超えるツルが越冬のためシベリアから渡来し、この地で過ごしている。

・吹上浜

東シナ海に面していちき串木野市から南さつま市まで47km続く日本一長い砂丘。白砂清祥の海岸で毎年「吹上砂丘の祭典」が行われ、砂像が並びライトアップもされている。

《代表的な観光資源》

〔温泉〕

- ・指宿温泉：大隅半島南端近くの海沿いの温泉地。地熱を利用した熱せられた砂をかける砂蒸し風呂という独特の温泉。
- ・古里温泉：桜島の南側の海に面した温泉。江戸時代中期の噴火によって湧き出したと伝わる。

〔名物料理・特産品〕

- ・かるかん：米粉や山芋などで作った饅頭。古くから伝わる郷土菓子。
- ・つけあげ：他県ではさつま揚げとよばれる。魚のすり身を使った練り物で甘く仕上げている。
- ・大島紬：奄美大島で作られる絹織物やその絹布で縫製された和服。1300年の歴史がある伝統工芸品。